

わかりやすい！みんなの

通学バスのルール＆マナー

たいにちきょうかいがっこう じどうせいと つうがく
泰日協会学校では、ほとんどの児童生徒が、バスで通学をしています。

まいにちおお じかん す つうがく なか ねんせい ねんせい じどうせいと かいてき す
毎日多くの時間を過ごす通学バスの中ですから、1年生から9年生までの児童生徒が、快適に過ごせるように
していく必要があります。

つうがく なか す かた がっこうせいかつ おく うえ たいせつ
通学バスの中での過ごし方は、学校生活を送る上でも、とても大切です。

かいてき とうげこう おこな まも おも こころ きよりよく
快適な登下校を行えるように、みんながルールやマナーを守り、思いやりの心をもって協力しあいましょう！

☆乗車時☆

- 1 バスパスに書かれている発車時刻の5分前には、トイレを済ませて集合しましょう。
- 2 モニターさん、ドライバーさん、保護者の方にも挨拶をしましょう。
- 3 バスパスをモニターさんに見せましょう。
- 4 バスの後ろの席から、順につめて座りましょう。
(アパート内で相談の上、座席が決められている場合もあります。)

バスの中が寒と感じる人は、
上着を持参しましょう！

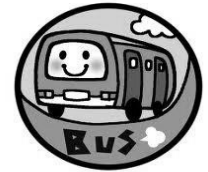
☆バスの中☆

- 1 走行中は危険防止のため、シートベルトは必ず装着し、立ったり、歩き回ったりしないで下さい。
シートベルトで遊ぶのは危険なのでやめましょう。
- 2 危険回避のため、座席の背もたれを倒さないで下さい。急ブレーキをかけた場合危険です。
- 3 椅子をけっしてはいけません。みんなが快適に過ごせるように、周りの人のことも考えましょう。
- 4 バス内の備品（消火器、非常扉や扉のチェーン等）には、絶対に手を触れないで下さい。
また、座席や壁などにいたずら書きをしたり、傷をつけたりしないで下さい。自分の物のように大切にしましょう。
破損などは、保護者の責任となり、修理代を請求されることがあります。
- 5 大きな声で話をするのは、周りの人の迷惑になるばかりでなく、ドライバーさんの連絡用の無線が聞こえなくなることもあります。緊急の連絡が、聞こえないと大変危険です。静かに乗りましょう。

- 6 筆記用具や文房具などを出すことは禁止です。先がとがっている物は、人を傷つける場合がありますからです。
Chromebook、ASUS も壊れてしまう可能性があるため、バスの中では使用しないようにしましょう。
- 7 学校に必要なのないものはバスに持ち込んではいけません。ただし、マンガ本以外の本は読んでも良いです。
- 8 バス内での飲食は禁止です。ただし、停車中に持参の水筒の飲み物を飲むことはできます。
- 9 バスの中は、いろいろな学年の人が乗っています。低学年の人は、高学年・中学生の言うことをよく聞きましょう。
- 10 高学年・中学部のみなさんは、困っている人がいたら助けてあげましょう。また、おもいやりを持った行動や発言をしましょう。
- 11 みんな仲良くケンカをしないようにして、バスの中を気持ちの良い環境にしましょう。

☆降車時☆

- 1 バスが完全に停車するまでは、絶対に席から立ち上がらないで下さい。
- 2 バスパスを必ずモニターさんに見せて、前の人を押さずにゆっくりと降りましょう。
モニターさんの指示に従ってあわてずに降りて下さい。また、降りてすぐに走り出すことは大変危険です。
- 3 バスを降りる前には、自分で忘れ物がないか必ず指さし確認しましょう。
- 4 モニターさん、ドライバーさんに挨拶をしましょう。



☆その他☆

- 1 通学バスのことで心配なことがあった時は、おうちのひとや先生に話してください。
一人で悩まないようにしましょう。
- 2 持ち物には、名前を書きましょう。車内に忘れ物をした時は、忘れ物によって受け取る方法が異なります。
まずは、おうちのひとに話して、手続きをしてもらいましょう。

☆保護者の皆さまへ☆

- ・「わかりやすい！みんなの通学バスのルールとマナー」は、児童生徒が通学バスのルールやマナーについて、理解しやすいように「通学バスのルールとマナー」から抜粋し、わかりやすい言葉で、読みやすく作成したものです。
毎学期、通学バスを利用する前には、お子さまと一緒に確認しながらご一読ください。
- ・毎学期、通学が始まると忘れ物が増えてきます。持ち物には、必ず名前を書いて、万が一落とした場合でも落とし主がわかるようにしてください。
また、学校へ来校された際には、忘れ物コーナー（バンコク校）のご確認もお願いいたします。
- ・バス部では、年に数回、バス部通信を発行しています。大切な内容を掲載しておりますので、ご一読ください。
- ・バス乗車降車時には、くれぐれも車の往来や不審者には、気をつけるように、心がけてください。